

## 2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 15日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	野木村忠度
研究課題	E コマースと流通政策—変化する書籍流通の視座から—				
研究キーワード	E コマース、流通政策	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

## 1. 研究成果の概要

2021年度の研究成果は2つの著書を出版したことにある。

「E コマースと流通政策」を研究する過程で、E コマースの中心にあるプラットフォームの研究を行ってきた。その際、プラットフォームをめぐる多様な文献を読み中進める中で、新たな研究課題を発見することができた。プラットフォームをめぐる政府機関の研究も進んでおり、報告書について検討を進めてきた。これらの研究成果を2022年度に学会発表、論文等で報告する予定である。

※一方で、プラットフォームによる書籍流通の研究に一部停滞が生じたことから、次年度も継続的に行う予定である。

## 2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

## 【論文（査読あり）】

## 【著書・論文（査読なし）】

「流通とマーケティングの基礎」・共著（長谷川博・斉藤保昭・野木村忠度・4・5章担当）・成文堂

「流通と法—新版—」・単著・尚学社

## 【学会発表等】

## 3. 主な経費

主に資料収集のために使用した。

## 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

（本文は2ページ以内にまとめること）